

Corning® マトリゲル基底膜マトリックス 3Dプレート

よくある質問と回答

CORNING

フォーマット

- どのようなフォーマットがありますか？

カタログ番号	仕様	包装	1ケース
356259	96ウェル 黒色/透明、個別包装	個別包装	1枚
356256	384ウェル 黒色/透明、個別包装	個別包装	5枚
356257	384ウェル 白色/透明、個別包装	個別包装	5枚
356258	384ウェル 白色/透明、個別包装	個別包装	1枚

融解と取り扱い

- マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートはどのくらいの時間で溶けますか？
包装を開けずに2～8°Cの冷蔵庫またはコールドルームで一晩かけて融解してください。十分に融解していない状態で使用するとマトリゲル基底膜マトリックス中に空気が残る可能性があります。融解時は、積み重ねず平らなところに置いてください。
- 使用するまではどこで保管したらよいですか？
霜取り機能の付いていない-20°Cのフリーザーで保管してください。
- マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートは使用前に遠心する必要はありますか？
適切に保管、融解、取り扱われている限り、マトリゲル基底膜マトリックスはプレートの底面にコートされているので遠心は不要です。
- 融解したマトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートを再凍結してもいいですか？
一度融解したら再凍結はしないでください。当日中は保冷状態で保管することができます。

使用/アプリケーション

- マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートにはどのような使い方がありますか？
マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートは、3次元構造を作るための“サンドイッチ/オーバーレイ法”や“包埋法”でご使用いただけます。“サンドイッチ/オーバーレイ法”はマトリゲルが重合した後に細胞を播種するのに対して、“包埋法”では各ウェルの融解したマトリゲル中に細胞を播種してからマトリゲルを重合させます。“サンドイッチ/オーバーレイ法”の方がサンプル数が多い場合にはより適しています。細胞種、密度、容量、培地は3次元構造の形成に影響を与える要素であり、プロトコールによって異なります。

“サンドイッチ/オーバーレイ法”

“サンドイッチ/オーバーレイ法”で培養を行う場合、マトリゲル基底膜マトリックス 3Dプレートの重合にはどのくらいの時間がかかりますか？

一般的には融解後37°C 5% CO₂のインキュベーターで30～60分です。

“サンドイッチ法”で培養する場合、希釈したマトリゲル基底膜マトリックスをどのくらい添加すればいいですか？

アプリケーションに合わせて最適化することをお勧めします。一般的には、マトリゲル基底膜マトリックスを0～0.2 mg/mLになるように培地に加えます。細胞種によっては培地に対して0.45 mg/mLまで必要な場合もありますし、添加しなくていい場合もあります。必要に応じて細胞培養時に使用したものと同一マトリゲル基底膜マトリックスを培地に希釈して使用することをお勧めします。

“包埋法”

3次元細胞培養に、マトリゲル基底膜マトリックス 3Dプレートを“包埋法”で使用することはできますか？

“包埋法”で本プレートを使用する際は、マトリゲル基底膜マトリックスを融解後、重合させる前に使用する必要があります。融解後のプレートを4°Cまたは氷上に静置して、少量の細胞懸濁液（96ウェルは5～20 μL、384ウェルは2～5 μL）を加えます。

- 融解したマトリゲル基底膜マトリックスの層の真上にゆっくりと細胞懸濁液を分注してください。

役立つヒント

- 細胞懸濁液は各ウェルの中央に添加してください。絶対にくるぐる混ぜないでください。混ぜてしまうと細胞が横に流れ落ちて2次元細胞培養になってしまいます。
- プレート積み重ねないでください。
- 細胞を播種後、マトリゲル基底膜マトリックスを重合させる前に4°Cの冷蔵庫で30分静置すると、よりきれいに包埋できます。

もしくは

- ・細胞懸濁液を、各ウェルの融解したマトリゲル基底膜マトリックスと優しく混合してください。

役立つヒント

- 細胞とマトリゲル基底膜マトリックスをピペティングにより混合する際は、泡立てないように注意してください。
- ・その後、細胞懸濁液を含むプレートを37°C 5% CO₂のインキュベーターで30~60分かけて重合させ、培地を加えて適宜培養します。

なぜ“包埋法”では少量の細胞懸濁液が推奨されるのでしょうか？

添加する細胞懸濁液の量が多いと、ウェル壁のほうに流れてしまい、3次元ではなく2次元での細胞培養になってしまうからです。また、各ウェルのマトリゲル基底膜マトリックスが希釈されてしまい、3次元細胞培養をサポートできなくなる可能性もあります。

なぜ“包埋法”では細胞播種時にプレートを4°Cまたは氷上に静置しておく必要があるのでしょうか？

細胞を播種するまでプレートを冷やしておくことで、重合が不規則に始まってしまうことを防ぐためです。

● マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートはイメージングに使用できますか？

はい、ご使用いただけます。

● マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートで使用できる細胞種を教えてください。

がんスフェロイドやオルガノイド(お客様使用例: 卵巣、前立腺、大腸、膵臓腫瘍オルガノイド)に適しています。

● マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートを使用時のエンドポイントの読み出し情報の種類を教えてください。

ご使用になるプレートによって、蛍光または発光検出にご使用いただけます。白色/透明プレートには発光アッセイを、黒色/透明プレートには蛍光アッセイをお勧めします。本製品はイメージングにも適しています。

● マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートでは培地の蒸発対策をしていますか？

蒸発を抑えるためにフタに蒸発防止リングを付けています。

● マトリゲル基底膜マトリックス3Dプレートのパフォーマンスの均一性をどのように確認しているのですか？

バリデーション済みの製造過程における品質管理を行い、ロット内およびロット間でのプレートの均一性を確認しています。

仕様に関するさらに詳しい情報は、弊社ウェブサイト(www.corning.com/lifesciences)の保証書のダウンロードページよりご確認ください。

・価格は2020年9月現在のものです。価格は税抜き価格で記載しております。

・商品の外観・仕様は予告無しに変更することがあります。予めご了承下さい。

・For a listing of trademarks, visit www.corning.com/clstrademarks.

All other trademarks are the property of their respective owners.

・保証・免責事項: 特に記載がない限り、記載中の製品は研究用機材および試薬です。診断、または治療用途には使用しないでください。また人体には使用しないでください。

コーニングライフサイエンスは本製品の臨床又は診断用途でのいかなるパフォーマンスについても保証しません。

CORNING

総販売元

コーニングインターナショナル株式会社
ライフサイエンス事業部

〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ7階

Tel:03-3586-1996 Fax:03-3586-1291

www.corning.com/lifesciences

CLSJP@corning.com

技術サポートへのお問い合わせは

Tel:03-3586-1268

ScientificSupportJP@corning.com

©2020 Corning Incorporated

CLS-229-00

CLS-AN-571

RO-0000-000-T